

生徒に新しい 学びの機会を

いま子ども達を取り巻く環境が急速に変化しています。未来が予測しづらくなり、将来、簡単な仕事はロボットやAIに代替されると予測されています。生き抜くためには**状況を的確に判断する分析的思考が不可欠**です。また、デジタル化によるポータレスな世界においては、**より鮮度の高い情報を得るための、高い言語力の獲得が必須**です。どちらのスキルも、専門分野をもって社会に出る**理系人財には欠かせない**ものです。

そこで私たちは、これらの能力をバランスよく身に付けられる**理系人財向けのSTEAMと英語を組み合わせた授業**を考案しました。文系理系の枠を超えて教えることで、今までとは違う**新たな視点を生み、好奇心を育み、学びへの目的意識を高められる**ようになります。

実際に授業に取り入れた学校では、生徒に**こんな変化が表れています**。

「英語が現実世界で使われている言語だと実感できた」

「英語と工学の両方を並行して学んだので**大きな達成感を感じた**」

このように勉強と現実世界がリンクすることで勉強が自分事になり、学びへのモチベーションが高まっています。

科学者目線のコミュニケーション英語

STEAM英語

を授業に取り入れてみませんか？

STEAM ENGLISH LAB.



オンライン授業
対面授業
対応

STEAM とは？

Science (科学)
Technology (技術)
Engineering (工学)
Art (アート)
Mathematics (数学)

それぞれの頭文字をとった言葉です。
STEAMはこれら5分野を積極的に学ぶ教育スタイル。
実社会での問題発見や解決を目的としています。

裏面にはSELが提供する
サービスをご紹介します。

なぜSTEAM英語

STEAM英語では実験などによって**実際に目の前で起こった現象を英語**にしています。題材は科学技術分野を扱います。理系人財にとっては、**現実と学びが交錯する瞬間、STEAM英語には、こうした生きた英語を学ぶ**チャンスがたくさんあるのです。そして**メリットは英語だけではありません**。STEAMのアクティビティを通して**論理的に考え、今までは違った観点から物事を見る力も付けられます**。受け身で学ぶのではなく、生徒が自ら考え能動的に参加できる授業スタイルになっています。



サービスの特徴

STEAM英語の講師が学校に出向く出張授業、生徒の成果物の添削指導、教材の提供・共同開発など、私たちのサービスは多岐に渡ります。詳しくは裏面をご覧ください。
講師陣は、日本語・英語が堪能で、ビジネス経験や海外経験があります。

コミュニケーション英語を目的とした授業ではありませんので、理解優先のため、授業での使用言語は日本語を推奨しています。ただし、授業で使用する英語の量・レベルは、**ご要望に合わせて調整が可能です**。どんなレベルの生徒でも柔軟に対応していますので、遠慮なくご相談ください。
サービス一覧にない内容でも、ぜひ一度ご相談ください。

実績例

- ◆ 東京都 聖学院中学校2年生 STEAM英語授業(希望者)
- ◆ 東京都 私立女子高校2年生 科学技術英語授業(全生徒)
- ◆ 新潟県 新潟県立新発田高等学校 授業用教材提供+発表添削指導
- ◆ 東京都 明蓬館高等学校国立SNEC 特別支援コース向け特別授業 など

1 実験で親しむSTEAM英語

「理系だし、英語や国語はあまり好きじゃないんだよね」
 「英語って理科ではどうやって使うんだろう」
 普段学んでいる英語を、科学実験で使ってみましょう。実験などによって**実際に目の前で起こった事象**を英語で表現します。英語が苦手な生徒にとっても、**英語学習のモチベーションUP**に繋がります。簡単な実験ながら、科学に言語に多くの学びが得られます。



実験授業では毎回、こんな実験レポートを完成させます！



STEAM 英語 おすすめ サービス

2 絶対伝わるプレゼン英語

「どうして分かってくれないの？」
 「日本語を訳せば伝わるんじゃないの？」
 良いアウトプットのためには、**良いインプット**が必要です。なぜ発表するのか、良い発表とは何かを理解し、**良いものを見抜く目を養う**ことを目的とした講座です。先生任せ、翻訳ツール任せではない、**自立した発表者**を育てます。話す発表(スピーチ)と書く発表(ポスター)の両方に対応しています。

「理科の現象を表現するという目的がはっきりしているのだから」

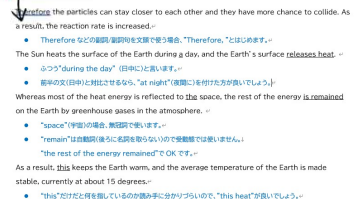
ただ英語の文法を勉強するより楽しく、モチベーションが上がった！」

3 STEAM英語で添削指導

「生徒の英語の研究発表を、どう指導をしていいのかわからない」
 「生徒に講座を受講させたいが、諸事情で難しい」

研究発表スクリプトやポスター、レポートなど、生徒さんの成果物をお送りください。STEAM英語のエキスパートが、「**研究**」と「**英語**」の2つの観点から添削します。今後、生徒さんが自分で自分の成果物を見直す際の参考になるようにアドバイスをしています。先生向けには、**今後の指導の参考**にして頂けます。

細かくポイントを記載し、英語の添削だけでなく、発表の構成についてもアドバイスします。



授業は私達が担当します

宮崎 美帆
Miho Miyazaki



イギリスの大学で自然科学を専攻。IT系の民間企業を経て英語講師へ転身。STEAMと英語が持つ科目横断型指導の可能性について研究を続ける。
 ◆ CELTA(ケンブリッジ大学認定英語教授資格)
 ◆ キャリアコンサルタント国家資格

中村 尚子
Naoko Nakamura



滞米生活を経て、特許翻訳者として知財分野に関わる。都内の大学理工学部や企業で技術英語講師を務め、ビジネスの世界で英語力を発揮できる人材の育成を目指す。
 ◆ 中高英語教員免許、TESOL 資格保有
 ◆ 特許翻訳者、技術英語講師

4 はじめての英語論文

英語文書を読めること、欲しい情報に素早くたどり着くこと、必要な情報を正確に読み取ること、どれも**理系人財には欠かせないスキル**です。この講座では、**英語論文の特徴を理解し、読む際の目の動かし方**を学びます。

お気軽にお問合せください。
 STEAM ENGLISH LAB.
<https://steamenglishlab.com/>
inquiry@steamenglishlab.com

